

THE SUPER SCOUT BROS. CAMP

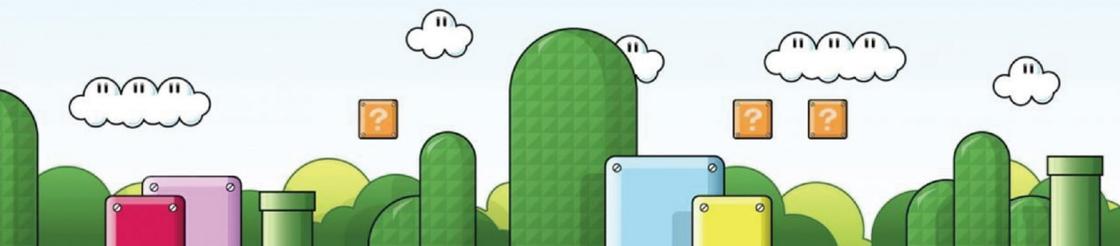
ボーイスカウト 伊丹第10団
都窪 第2団

Itamilo
x
Tsukubo2



ザ・スーパースカウト
ブラザーズ・キャンプ
2023.9.16-17

岡山県倉敷市自然の家





都窪第2団 今村雪乃

伊丹第10団 内田明

目次

1 ようこそ!「ザ・スーパースカウトブラザーズ・キャンプ」へ!

キャンプの目的とテーマ 2
 「あたらしい、とくべつな班」だっ! 3
 伊丹第10団と都窪第2団 4
 会場へのアクセスマップ 6
 倉敷市自然の家マップ 7
 倉敷市自然の家管内図 8
 活動エリアマップ 9

2 プログラム

全体スケジュール(1日目) 10
 全体スケジュール(2日目) 12

3 スカウトソング

キャンプだホイ 14
 ヤヤヨーヨーユピ・ピスタ 15

4 楽しいキャンプを送るために

野営管理・安全三原則野営地注意事項 16
 天候・自然災害への対策 17
 安全衛生管理 19

5 安全パスポート

安全の三原則・活動中の心の健康について 22
 活動に伴う事故の予防 23~27

6 ともだちの絆

28~33

7 ツクボ団T作品集

34

8 スタッフ

38

注意事項・緊急時関係部署連絡先

39

9 健康個人記録

キャンプまでの健康記録・救急用個人情報記入欄 40
 キャンプ中の健康記録 41

ようこそ!

「ザ・スーパースカウト ブラザーズ・キャンプ」へ!

「ザ・スーパースカウトブラザーズ・キャンプ」は、岡山連盟の都窪第2団と兵庫連盟の伊丹第10団が一緒に行なう合同キャンプです。

このキャンプで目指すテーマは、ズバリ「絆(きずな)」です。

今回のキャンプでは、ビーバー、カブ、ボーイ、ベンチャーが、隊の枠を越え、さらに団の枠も越えて「あたらしい、とくべつな班」をつくります。

はじめての顔ぶれで、年齢もずいぶん離れた仲間になりますが、お互いに力を合わせ、心をついて、炊事やゲーム、ハイキングなどに取り組みましょう。そしてその中で、お互いの「絆(きずな)」が生まれるのを感じましょう。

マリオブラザーズやその仲間たちが、力を合わせて困難に立ち向かったように、わたしたちも強い絆を持つ「ザ・スーパースカウト ブラザーズ」として、さまざまな困難に立ち向かい、楽しい思い出に残るキャンプにしましょう。



都窪第2団 巽 瑚夏

伊丹第10団 栄 絢菜

「あたらしい、とくべつな班」だっ!

はんめい
班名

はんこ
班呼

はんちょう
班長(班の代表責任者)

じちょう
次長(班長を助け、不在時に班長代り)

きろくかかり
記録係(文章を書く担当)

はいきゅうかかり
配給係(食材を担当)

びひんかかり
備品係(テントや炊具等の担当)

あんぜんかかり
安全係(危険なことを担当)

けんこうかかり
健康係(みんなの健康を担当)

かんきょうかかり
環境係(自然に優しいか担当)

どくみかかり
毒味係(味付け担当)

ひつけかかり
火付係(火起こしの担当)



伊丹第10団 井上 敬子



10団 かぞく



いたみだい だん いたみくうこう ちか みどりゆた こうえん まち かつどう
 伊丹第10団は伊丹空港の近くにあり、緑豊かな公園がたくさんある町で活動
 しています。大きな池もあり、はくちょうやカモなどの渡り鳥もやってきますよ。
 そんな環境の中で、ハイキングや地域奉仕・野外活動を通し、スカウトも指導者
 も保護者も、家族のように仲良く活動しています。
 都窪第2団の皆さんとも、仲良くなって大家族になれたらいいな!
 恥ずかしがり屋さんが多いですが、よろしくお願いします!



バラ公園や
昆虫館もあるよ!

これが都窪第2団だッ!



つくぼだい だん おかやま けんなん さとやま かわ ふる じんじや
 都窪第2団は岡山の県南にあり、里山や川、古い神社
 や遺跡など、自然と歴史の豊富な町で活動しています。
 家族ぐるみで参加しているアットホームな団で、
 1966年の発団から57年間、地域に根ざした活動を続
 けています。伊丹第10団の皆さんと、太い絆が結べる
 よう、合同キャンプをしっかりと楽しみましょう。



都窪第2団 塚常 有登



都窪第2団 宇津木 唯

会場までのアクセスマップ

焼肉牛長 ●

瀬戸中央自動車道

国道2号線

早島IC

瀬戸大橋線

水島IC

由加山 蓮台寺 ●

倉敷市自然の家

QRコード

北

市宮駐車場

太助茶屋

石段

徒歩近道

ツクボメンバー 一般車両

一般駐車場

職員駐車場

クラフト棟

倉敷市自然の家メイン棟

受付

大型バス
伊丹スカウトはここで下車後
徒歩でキャンプ地へ

由加山 蓮台寺 ●

倉敷市自然の家

倉敷市自然の家

倉敷市自然の家マップ

倉敷市自然の家

倉敷市自然の家メイン棟

受付

クラフト棟

一般駐車場

職員駐車場

市宮駐車場

太助茶屋

石段

徒歩近道

ツクボメンバー 一般車両

大型バス
伊丹スカウトはここで下車後
徒歩でキャンプ地へ

由加山 蓮台寺 ●

倉敷市自然の家

倉敷市自然の家 

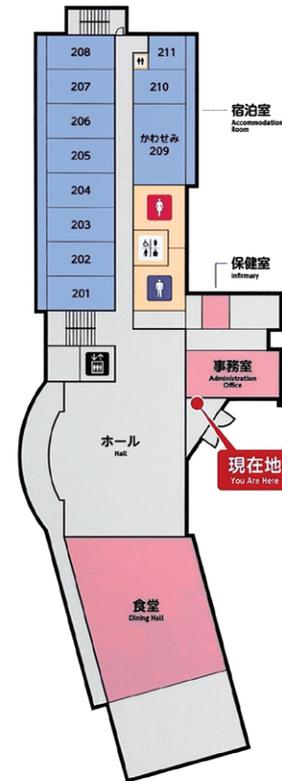


ホームページ



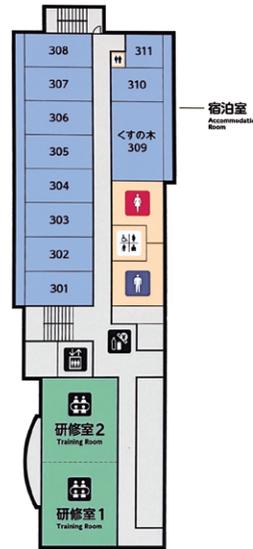
1F

- 浴室
Bath Room
- シャワー室
Shower Room
- 洗濯室
Laundry Room
- 自動販売機
Vending Machine



2F

- 宿泊室
Accommodation Room
- 食堂
Dining Hall
- 保健室
Infirmary
- 事務室
Administration Office

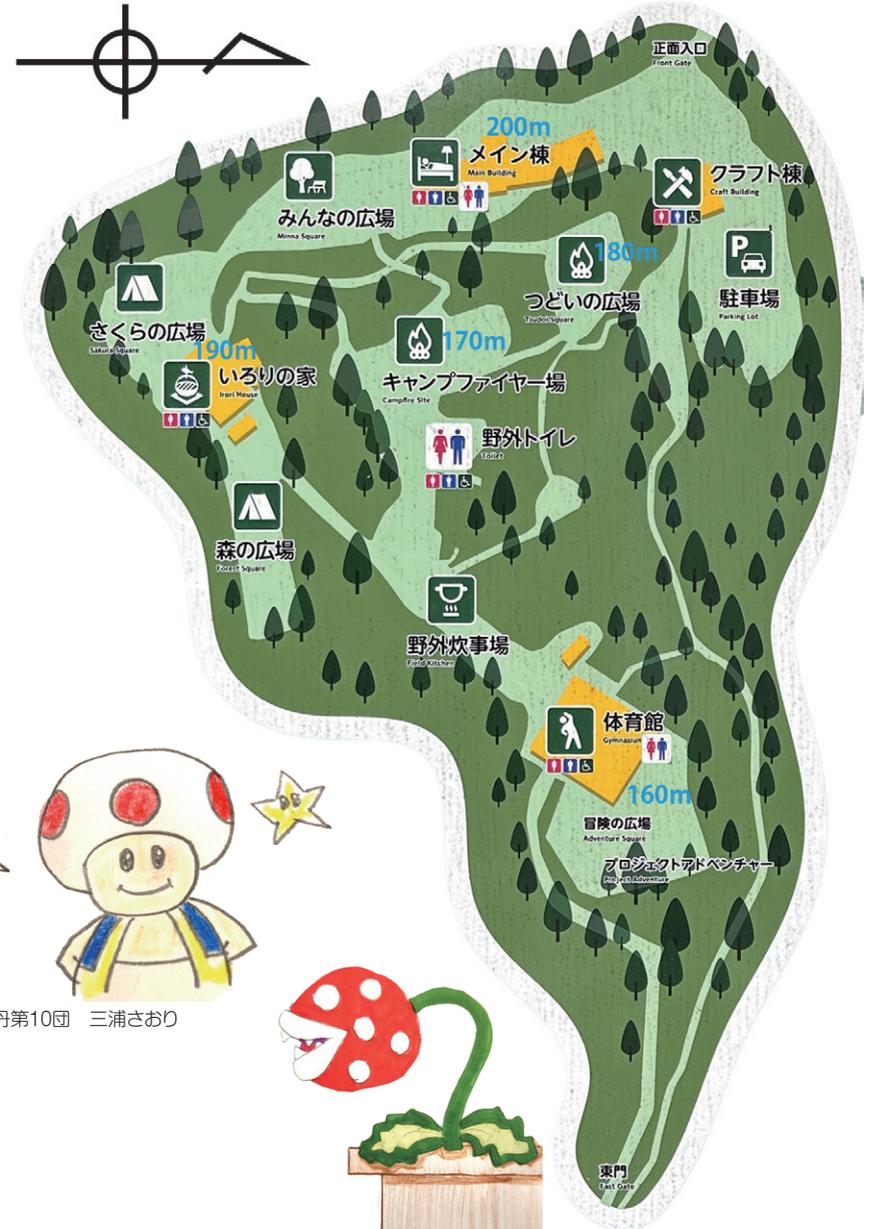


3F

- 宿泊室
Accommodation Room
- 研修室1・2
Training Room



館内は全面禁煙です
No Smoking on the Premises



伊丹第10団 三浦さおり



都窪第2団 宇津木 唯

全体スケジュール(初日)

時間	9月16日(土)	
12:00		
12:30	受付【メイン棟 玄関前】	
13:00	13:00 参加者集合【つどいの広場】	
	13:30 開会式・国旗掲揚・入所説明【つどいの広場】	
14:00	14:00 スーパーレクリエーション【つどいの広場】	
	14:30 設営・宿舎準備	
15:00	15:30 班会議【野外炊事場】	
16:00	16:30 野外炊事【野外炊事場】	
	夕食・片付け	
17:00		
18:00	18:00 国旗降納 ※笛の合図で作業を中断、国旗掲揚柱に敬礼	
19:00	19:00 ファイヤースタントの練習【ファイヤー場以外で各隊ごと】	
	19:30 スーパー・キャンプファイヤー【ファイヤー場】	
20:00	20:30 班長連絡会議【メイン棟 食堂】	
21:00	21:00 就寝準備(各隊)	スカウト入浴タイム
22:00	22:00 消灯・点検	大人入浴タイム
	22:00 指導者連絡会議【3F 研修室1】	

全体活動
各隊ごと活動
班別活動
班長のみ

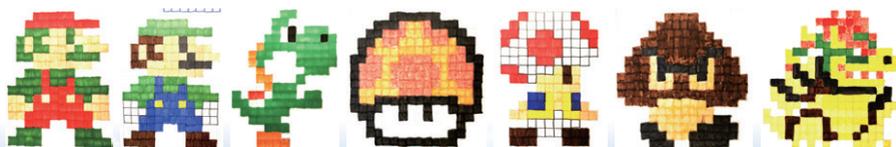
受付

12:30 ~ 13:00

隊毎活動

【メイン棟玄関前】 個人装備

ビーバー・保護者(宿舎泊)は、荷物を【メイン棟内の指定場所】に仮置き。(入室は14:30)
 カブ・ボーイ(テント泊)は、荷物を【メイン棟南側外の指定場所】に置く。
 受付係2名、荷物誘導係2名、各隊スカウト誘導係



都窪第2団 宇津木 唯

参加者集合

13:00 ~ 13:30

隊活動

【つどいの広場】(雨天時:いろりの家) 制服・制帽 個人装備(カブ・ボーイ)

※制服・制帽で新しい班編成発表

開会式・国旗掲揚・表彰・入所説明

13:30 ~ 14:00

全体活動

【つどいの広場】(雨天時:いろりの家) 制服・制帽 各隊旗

スーパーレクリエーション

14:00 ~ 14:30

班活動

【つどいの広場】(雨天時:いろりの家) 制服・制帽 新しい班でアイスブレイクゲーム

設営・宿舎準備

14:30 ~ 15:30

隊活動

カブ・ボーイ隊:【みんなの広場】(雨天時:体育館下) 活動服・作業帽に着替え、テント設営ビーバー隊:【メイン棟宿泊室】 活動服・作業帽に着替え、シート等受取り、施設利用の注意点確認

班会議

15:30 ~ 16:30

班活動

【野外炊事場】 活動服・作業帽 ハンドブック 軍手 水筒 塩分飴など

○新しい班の名前や係を決める・班旗をつくる

野外炊事

16:30 ~ 19:00

班活動

【野外炊事場】 班旗 活動服・作業帽 ハンドブック 軍手 水筒 炊具 個人食器

○料理の手順・分担確認 ○料理名 ○手順 ○分担 ○出来上がり目標時間

ファイヤースタントの練習

19:00~19:30

隊活動

【ファイヤー場以外で各隊ごと】○原隊に別れてスタントの練習

スーパーキャンプファイヤー

19:30~20:30

全体活動

【ファイヤー場】(雨天時:いろりの家でキャンドルサービス) 活動服・作業帽 ライト 水筒

○スタントは、ツクボは原隊ごとに、伊丹第10団は団で

班長連絡会議 班長のみ

20:30~21:00

班長のみ

【メイン棟 食堂】 活動服 班旗 ハンドブック 筆記用 ライト 椅子

○我が班紹介(班名・班長名・班呼・班旗の意味)

○本日の我が班 明日への我が班の目標 連絡事項

就寝準備・(入浴)・消灯・就寝

21:00~22:00

隊活動

22:00には消灯(指導者による点検がまわります)

指導者連絡会議 【3F 研修室1】

22:00~23:00

全体スケジュール (2日め)

時間	9月17日 (日)		全体活動	
6:00	6:00 起床・洗面・装備整理		各隊ごと活動	
	6:25	ラジオ体操【つどいの広場】		朝食準備 【いろりの家】
	6:35	朝の清掃【各隊担当場所】		
7:00	7:00	朝食バイキング【いろりの森】	班別活動	
8:00	8:00	朝礼・国旗掲揚【つどいの広場】		保護者・団委員
	8:15	スカウトズタウン (各隊) 【つどいの広場】		
	8:20	朝のゲーム【つどいの広場】		
9:00	9:00 撤営・退所準備 (各隊)			
	9:30 退所点検			
10:00	10:00	スーパーオリエンテーリング	竹準備 昼食準備 【屋外炊事場】 昼食	
11:00		【つどいの広場集合】		
12:00	12:00	昼食 (班別) 【屋外炊事場】		
13:00	12:45	お別れ会【屋外炊事場】		
14:00	14:00 閉会式【つどいの広場】			
	14:30 解散			

起床・洗面・装備整理 6:00 ~ 6:25 隊活動

カブ・ボーイ隊: 着替え、洗面、用便
ビーバー隊: 着替え、洗面、用便、シート等たたみ

ラジオ体操 6:25 ~ 6:35 全体活動

【つどいの広場】(雨天時:いろりの家) 活動服・作業帽 班旗 ハンドブック 水筒

朝の清掃 6:35 ~ 7:00 隊活動

カブ・ボーイ隊: サイト・ホール・玄関～玄関前 活動服・作業帽
ビーバー隊: 宿泊部屋・廊下

朝食バイキング 7:00 ~ 7:55 班活動

【いろりの家】 活動服・作業帽 水筒 個人食器&カトラリー

朝礼・国旗掲揚 8:00～8:15 全体活動

【つどいの広場】(雨天時:いろりの家)
活動服・作業帽 班旗 ハンドブック 水筒 各隊旗

スカウトズタウン 8:15～8:20 隊活動

【つどいの広場】(雨天時:いろりの家) 活動服・作業帽 各隊旗

朝のゲーム 8:20～9:00 班活動

【つどいの広場】(雨天時:いろりの家) 活動服・作業帽 班旗 ハンドブック 水筒
ゲームは班対抗戦 ※優秀班の表彰

撤営・退所準備 9:00～10:00 隊活動

カブ・ボーイ隊: 【みんなの広場】(雨天時:体育館下) テント撤営、清掃
ビーバー隊: 【メイン棟宿泊室】 シーツ等返却、片付け、所員点検
※「撤営は次のキャンプの大切な準備である」こと、班サイトの清掃と現状復帰は、その痕跡を一切残さないことを美徳(誇り)としよう。撤収点検は、制服で受ける。
「名誉にかけて、最後の最後まできちんとやり遂げた」スカウトの姿勢の表れ。

スーパーオリエンテーリング 10:00～12:00 班活動

【つどいの広場スタート～全エリア～野外炊事場ゴール】(雨天時:体育館下集合)
活動服・作業帽 班旗 ハンドブック 軍手 水筒 塩分飴など

昼食 12:00～12:45 班活動

【屋外炊事場】
活動服・作業帽 班旗 ハンドブック 水筒 個人食器&カトラリー

お別れ会 12:45～14:00 班活動

【屋外炊事場】
活動服・作業帽 班旗 ハンドブック 水筒 塩分飴など

閉会式 14:00～14:30 全体活動

【つどいの広場】(雨天時:体育館下)
活動服・作業帽 班旗 ハンドブック 水筒 各隊旗

キャンプだ ホイ 作詞作曲:マイク真木

1. キャンプだ ホイ キャンプだ ホイ
 キャンプだ ホイホイホイ
 キャンプだ ホイ キャンプだ ホイ
 キャンプだ ホイホイホイ
 はじめてみるやま はじめてみるかわ はじめておよぐうみ
 きょうからともだち あしたともだち
 ずーっとともだちさ

アクション

- キャンプだ 両手を前に出す
 ホイ 手を打つ
 ホイホイホイ 膝打ち、腹打ち、ばんざい
 はじめて 片手で目の上にひさし
 見る山 両手で山の形
 見る川 両手でゆらゆら川の流れ
 泳ぐ海 平泳ぎ



伊丹第10団 三浦 泰志



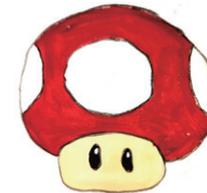
伊丹第10団 前田 望結

ヤヤヨーヨーユピ

- ヤヤ ヨーヨー ユピユピ ヤーヤ
 ヤヤ ヨーヨー ユピユピ ヤーヤ
 ヤヤ ヨーヨー ユピユピ
 ヨーヨー ユピユピ ヤーヤ

ビスタ

- フリー (リーダーに続いて歌う・以下同じ)
 フリー フロー
 フリー フロー フライ
 クムラッタ クムラッタ クムラッタ ビスタ
 オー ノー ノー ノース ビスタ
 イグザミニ デイザミニ ウワーラ ワラミニ
 ビビッカ オンドレ
 ビビッカ リンドレ
 スーイ



都窪第2団 宇津木 唯



楽しいキャンプをおくるために

野営管理

参加者は、次のことに留意する。

- ・快適なキャンプ生活を基本として、スカウト精神を発揮した心に残る体験とするため、安全管理に心がけ事故防止に努めること。
- ・自然の中での生活、プログラム、諸活動は、危険と表裏一体であることを認識し安全の三原則を厳守すること。

安全三原則

- ・安全を最優先する。
- ・自分の安全は自分で守る。
- ・ルールを守る。

野営地注意事項

- ・無断で会場から外出しない。
- ・直火は禁止。炊事場を使用する。
- ・送迎、装備品等の搬入・搬出は、指定された場所で行なう。
- ・炭や灰は「灰捨て場」に捨てる。ごみ分別の指示に従う。
- ・野営地の備品や設備は無断で使わない。また大切に使用する。
- ・サイト内で土等の掘り起こし、樹木の伐採はしない。

緊急退避

- ・隊長が台風や豪雨などにより野外生活が困難であると判断した場合は、速やかに団委員長に連絡をするとともに、団委員長の決定に基づき退避命令を発令する。
- ・退避の指示を受けた参加者は隊長の指示により、時間の許す限り班サイトを整理し、担当指導者が確認し、隊長に報告を行う。
- ・退避する参加者は隊長の指示に従い、個人装備をとりまとめ「指示された避難場所」に移動する。
- ・隊長は退避者及びその退避先を把握し、団委員長と連絡を密にする。
- ・団委員長の決定に基づき退避命令が発令された場合、直ちに副長やインストラクター及び支援保護者が保護者に連絡を行いお迎えを依頼する。
- ・悪天候でのお迎えも危険を伴うため常に天気予報の確認を行い、隊長は団委員長と連絡を密にとり、早期に判断を行う。



都窪第2団 植田 彩音



都窪第2団 植田 星華



都窪第2団 植田 美月

4-1 天候・自然災害への対策

(1) 熱中症・日焼け防止

- ・熱射病（日射病）、熱疲労、熱けいれんを総称し、熱中症という。いずれも、高温環境下に長時間立っていたり、作業していたりする時に起こり、体温調節や血液の流れが阻害され、熱が発散せず、いわゆる「うつ熱」と水分及び塩分の欠乏が原因である。
- ・日常よく出会う日射病は、頭部又は頸部に長時間、直射日光を受けた場合に起こる。また過度の日焼けは体力を消耗し、日射病や熱傷を起こし、最悪の場合は入院加療が必要な場合がある。
- ・晴天時は当然、曇りでも紫外線は強く、油断していると、すぐに重症になる場合がある。
- ・テント内の換気に注意するとともに、次の事項に留意する。
 - ①首筋や背中を直射日光にさらさないよう、作業帽と服装に注意する。
 - ②炎天下での作業に際しては、適時、日陰での小休止、水分や塩分の補給に配慮する。
 - ③野営日課に基づき、食事と睡眠を十分にとる。

(2) 雷対策

- ・落雷の持つ巨大なエネルギーから見れば、人間の絶縁保護作用は皆無に等しく、人への落雷は、金属類を身に着けているかいないかにかかわらず、人そのものが電流の良導体であることを理解する。また落雷は、金属、非金属にかかわらず、高く突き出ているものに落ちやすい。このことから、雷が発生した場合には次の事項に留意する。
 - ①雲が接近して大粒の雨がともなうときは、雷雲がすぐ頭上にある。大粒の雨はヒヨウやアラレになりそこねたもので、落雷直前を意味するので、直ちに安全地帯に退避する。
 - ②雷雲の進行方向とは逆方向の山陰や、稜線より低い森林地帯に退避する。屋根、水辺、広場、高い木の真下は危険。
 - ③高いポールや樹木（樹木の場合は、枝先・葉先）から必ず4m以上離れる。ポールや樹木が4m以上の高さの時は、その根元から4m以内の範囲で、姿勢を低くしてしゃがむ。（頂点45度の仰角で見る範囲に入る）
 - ④密集して歩かない、また、テント内でも密集せず、テントのポール部からもなるべく離れる。
 - ⑤退避中の避雷姿勢は、両足を抱え込むようにしてしゃがみ、周囲の物体よりも頭を低くする。（頭部付近の電位を低くする）
 - ⑥被害を少なくする為に、頭部や胸（心臓近く）から上には絶対に金属類をつけない。ヘアピン、バッジ、眼鏡、ネックレス、ピアス、腕時計等は外し、ズボンのポケット等に入れる。雨が降っていても傘はささない。なお、金属類を外していても少しも安全になったとは言えない。むしろ腕などに金属類をつけていることよって人体表面に沿った放電を起こしやすく、体内方面への電流の流れを変え、身体の外側方向に導く働きをする場合もある。

2.安全管理

(1) 周囲の状況の観察

- ①生活・活動場所をよく観察する。活動場所の地形、建物の通路の段差、ドアの開き方、人の動きなどよく観察し、対処の方法を考えておく。
- ②危険な箇所がある場合は、そのままにせず、本部に通報する。また、生活区域では整理・整頓に心掛ける。
- ③夕刻・夜間の行動時には懐中電灯を携帯する。

(2) 正しい用具の使用

- ①設営時の用具の使用は、平素の訓練の成果を示す良い機会であることを念頭において行う。
- ②ナイフ、ナタ等の刃物の扱い方の安全管理を徹底し、刃物による傷を負わないように特に注意する。ケガは楽しい活動の妨げになることを理解する。刃物は必要な時だけの携帯とする。

(3) 食中毒予防の三原則

食中毒の大部分は細菌によるもので、食中毒を防ぐには、次の三つのことに注意する。

- ①清潔の原則(食中毒菌をつけない)
- ②温度の原則(食中毒菌を殺す)
- ③迅速の原則(食中毒菌を増やさない)

この三原則とともに「食品の保持」から「残った食品」までについて、食中毒を予防するための4つのポイントを守る。

①食べ物を保存するとき

・腐敗や変質を防止するために、保管場所に直射日光や雨が当たらない様に配慮する。

②食事をするとき

- (ア) 食卓につく前に手を洗う。
- (イ) 清潔な手で、清潔な箸等を使い、食事をする。
- (ウ) 少しでも味や色が変だと思ったら、口に入らず、指導者に報告する。

③食べ物が残ったとき

残った食品は、できる限り捨てる。

④持参したコップ等は使用したら洗い、清潔に保管する。



都窪第2団 巽 汐璃

(4) 食物アレルギーへの対応

- ・食物アレルギーとは、特定の食べ物に含まれる「アレルゲン(アレルギーの原因となる物質)」に「免疫」機能が過剰に反応してしまい、体にさまざまな症状をおこすものである。症状は様々だが、中には死に至る場合もあることから、食品に含まれるアレルギー物質に関して、正確な情報が必要となる。
- ・キャンプ生活では、集団で生活を行うことから、アレルギーのある人だけでなく、一緒に生活をする仲間もアレルギーについて理解し、行動することが大切である。
- ・食品のアレルギーについては、日本の「食品衛生法」で表示が義務付けられているアレルゲン特定原材料(アレルギーの原因となる可能性がある食材)の以下の7品目を記載する。

7大アレルゲン特定材料

小麦、卵、乳、エビ、カニ、そば、落花生

また表示が推奨されているその他のアレルゲン原材料の20品目については以下のとおり。

いくら、キウイフルーツ、くるみ、大豆、カシューナッツ、バナナ、やまいも、もも、リンゴ、さば、ごま、さけ、いか、鶏肉、ゼラチン、豚肉、オレンジ、牛肉、あわび、まつたけ

(5) 有害(毒) 動植物等の被害防止

- ・野営会場(場外)で想定される有害(毒)動植物による危険は、敷地内外の森や藪で、毒蛇に噛まれる、ハチに刺される、ウルシに触れかぶれる等がある。その回避・対処方法としては、
 - ①肌の露出面をできる限り少なくするために、長袖、長ズボンで活動する。特にハチは黒い物や動く物を攻撃の目標にする習性があるので注意する。
 - ②二次災害を避けるため、救助者の安全確保を必ず確認する。
 - ③ハチに刺された場合、以前ハチに刺された経験があるかどうかを確認し、ショック症状がみられる場合は直ちに指導者に連絡する。
 - ④蛇類にかまれた場合は、毒の拡がり避けるために、安静の保持と局所を清潔に保つよう心がけ、傷より心臓に近い部分を縛り、毒が全身に回らないようにする。毒を口で吸い取ったりせず、直ちに指導者に連絡する。
 - ⑤有害動物(サル、クマ、イノシシ、野犬、ハチ等)に出会ったときは、急に逃げ出したり、威嚇等の刺激をあたえたりせず、遠ざかる。
- ・また、有害動物を発見した場合は直ちに指導者に連絡をする。
- ・過去の治療件数によると、ブヨ、蚊、ハチ等による被害が多く見られる。
- ・状況に適した長袖、長ズボン等の服装と初期治療
- ・石鹸水と流水で皮膚を十分に洗浄し、冷湿布を施す
- ・被害の防止と症状の緩和に心掛ける。あらゆる害虫を想定し、対策を講じる。
- ⑥有害動物(サル、カラス、野良猫など)の食材やゴミを荒らされる被害がある。
- ・班サイトから離れる場合は必ず、対策を講じる。



都窪第2団 谷井 咲月

安全パスポート 安全の三原則

《安全の三原則を守りましょう》

1. 安全はすべてにおいて優先される

【先取優位の原則】

・安全でないという状況があれば、すべての行動、行為を中断し指導者に報告・相談する

2. 自分の身は自分で守る【自守の原則】

3. 決められたルールを守る【規範・道徳の原則】

- *安全は小さな努力の積み重ね
- *安全はあせらず、あわてず、ゆとりから
- *安全は一人ひとりの心がけ
- *「これぐらい…」その油断が事故のもと
- *確かめて 手元足元 動く前
- *やばいかな? 思ったときは冷静に!!
- *忘れるな ヒヤリで済んだあの経験

ルールは
危険を回避し、
効率よく作業を進めるために
定められているんだよ!

活動中の心の健康について

下記の5つのことを心がけよう

1. 自分自身を大切に思うこと
2. 物事を前向きに考えること
3. 自分なりの目標に向かって努力すること
4. 様々なトラブル、心配事に、くよくよしないこと
5. 指導者・スカウト仲間と、何でも話し合える関係を築くこと

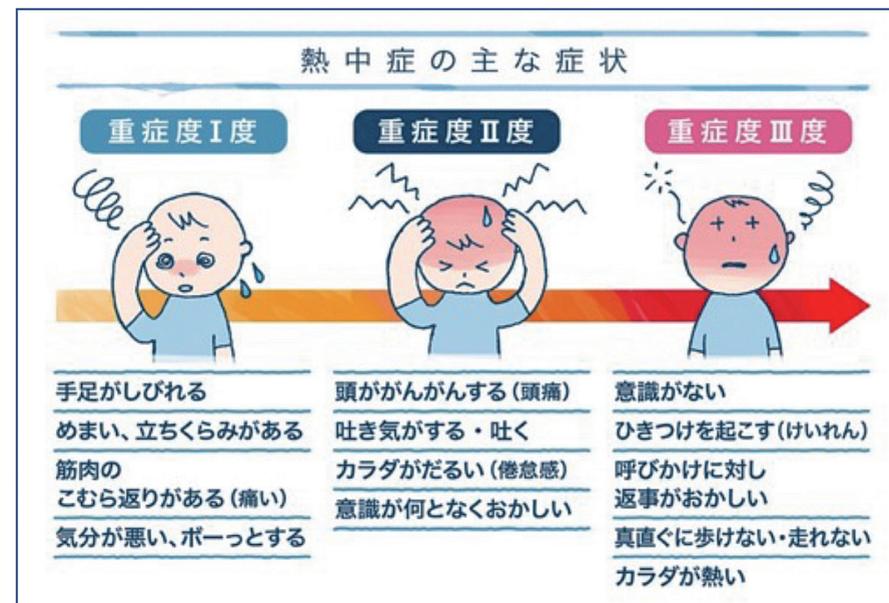
自分で抱え込まないで
班長や指導者に相談して!



活動に伴う事故の予防

1. 熱中症

1) こんな症状が出現します。



2) 予防と対策

- (1) 活動前に体調がすぐれない時は指導者に報告する
- (2) 休憩・水分の補給
日陰で小休止、大量に汗をかいたら塩分の補給も忘れずに!
- (3) 服装
活動中は必ず帽子をかぶる。暑くてもTシャツなどは着る。
マスクは距離を2メートル程度取ってははずす。
- (4) 日ごろから汗をかく習慣をつけておく。



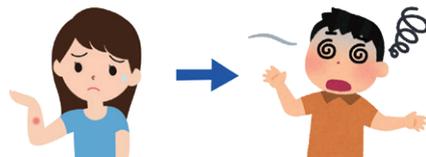
2. 虫刺され

野外には様々な虫がいます。

1) 症状: 軽いものから意識障害を起こすものまでいろいろです。

2) 予防と対策

- (1) 肌の露出部分を少なくする。(長袖、長スボンの着用)
- (2) 虫よけスプレーの使用。
- (3) テントの出入りの際はきちんとテントを閉める。靴はテントの外に放置しない。靴を履くときは靴の中を確認する。
- (4) 衣服やタオルを不用意に地面や草の上に置かない。むやみに、草の上に座ったり寝転んだりしない。
- (5) むやみに虫に近づかず、刺激するような行動はしない。
- (6) すぐに指導者に報告する。



3. 咬傷 (ヘビ)

1) 予防と対策

- ① 足元やふくらはぎを守る服装、装備をする。
 - ② 咬まれた部位を心臓より低い位置に保ち、指導者に報告する。
- ※ヘビには毒を有する場合があるため十分に注意する。



都窪第2団 小林 優芽



都窪第2団 小林 正和



都窪第2団 小林 輝吉



都窪第2団 小林 茜璃

4. けが

1) すり傷

- (1) 水道水等の流水で汚れをよく洗い流す。
(異物を完全に取り去る)
- (2) 傷口に清潔なガーゼをあてテープで止める。※綿やティッシュペーパーは使用しない
- (3) 翌日になってもひどく痛みがあったり、腫れる場合は指導者に相談する。



2) 切り傷

- (1) 傷口を水道水等の流水で汚れをよく洗い流す。
- (2) 消毒をし、傷口を抑え止血をし、出血が弱まればバンドエイドなどで傷を寄せるようにして止めておく。
*止血できなければ指導者に相談し、医療機関を受診する。
- (3) 傷が深いと判断したら、すぐに指導者に報告し指示を仰ぐ。



3) 刺し傷

《トゲ》

- (1) 手を洗い、毛抜きで抜く。この時トゲがおれないように注意し、残っていないか確認し血液を絞り出す。念のため消毒をする。抜きにくい時は5円玉の穴を押し当てるようにすると抜きやすい。

《古クギ》

- (1) すぐに指導者に相談し、医療機関を受診する。
古クギの刺し傷は、雑菌が侵入しやすいため注意を要する。

《刃物、ガラス、金属片》

- (1) 刺さっているものを無理に引き抜かず、すぐに指導者に報告する。

《眼の異物》

- (1) 絶対にこすらない。水道水等の流水で洗い流すか、清潔な洗面器に清潔な水を満たし、その中でまばたきをする。
- (2) 取れない場合は医療機関を受診する。



4) 鼻出血

- (1) 涼しいところで前かがみになり、小鼻をしっかりとつまみ押さえ、のどに流れてくる血液は吐き出す。
- (2) ガーゼやハンカチを筒状にして鼻に詰め、小鼻を圧迫する。
脱脂綿やティッシュは使用しない。

小鼻をつまみ 5~10分 ほど 圧迫する

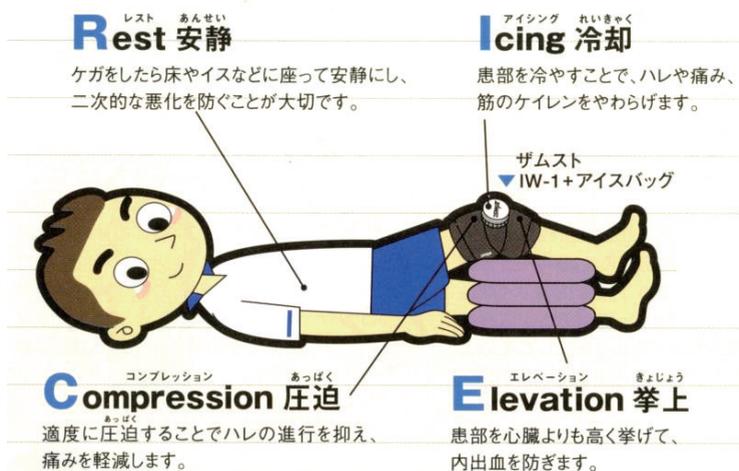


この際、氷のうなどで鼻を冷やすと効果的です。

5) 打撲・捻挫

- (1) R:患部と全身の安静を保つ。
- (2) I:アイシングで患部やその周囲を冷やす。
- (3) C:圧迫で内出血や腫れを防ぐ。
- (4) E:腫れがひくように、患部を心臓より高い位置にする。

RICE



※関節が動かず腫れや痛みがひどい場合は指導者に相談の上、医療機関を受診する。

6) 熱傷 (やけど)

- (1) 衣服の上から流水ですぐに冷やす。(保冷剤を使用する場合はタオルやガーゼで保護し、冷やしすぎないようにする)
- (2) 水疱ができてもつぶさない。
- (3) 指導者に相談し、やけどの程度によって医療機関を受診する。

やけど

- 1 できるだけ早く、水道水などの清潔な流水で十分に冷やす。
- 2 傷にいきおいよく当てないようにする。



- 3 衣服が皮膚にくっついていたりようなときは、無理にはがさないでそのまま冷やす。
- 4 冷やしたあとは、清潔なガーゼなどでおおう。薬を塗るのは禁物です。やけどがひどいときは急いで病院へ。



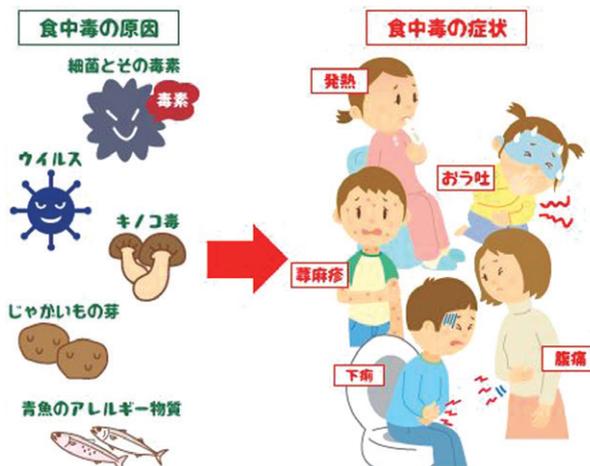
都窪第2団 山上 碧斗

5. 食中毒

1. 食中毒予防の3原則

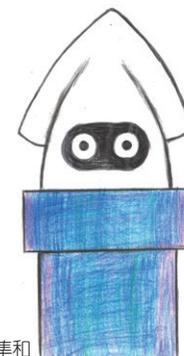
- (1) 清潔の原則 (食中毒菌をつけない)
- (2) 温度の原則 (食中毒菌を殺す)
- (3) 迅速の原則 (食中毒菌を増やさない)

2. 食中毒の症状



3. 予防の4つのポイント

- (1) 食べ物の保存
直射日光や雨が当たらないようにする (腐敗や変質防止)
- (2) 食事をするとき
① 食卓につく前に手を洗う
② 清潔な手で、清潔な箸等を使い食事を
③ 臭いや味が少しでもおかしいと思ったら食事を中止し指導者の判断を仰ぐ
- (3) 食べ物が残ったとき
残った食品は廃棄する
- (4) 持参したコップ等は使用後は洗い、清潔に保管する



都窪第2団 宗近 隼和

4. 食物アレルギーへの対応

あらかじめアレルギー症状を起こす原因を連絡しておくこと。



都窪第2団 宗近 賢和

ともだちの絆

同じ班になった、ともだちの葉っぱを貼ろう。

班名

ふかくながれ、ともだちのきずな。

ともだちの絆 同じ班以外のともだちの葉っぱも、あつめよう。



もつとひろがれ、ともだちのきずな。

ともだちの絆 同じ班以外のともだちの葉っぱも、あつめよう。



ずっとひろがれ、ともだちのきずな。

応募作アラカルト



三宅日鞠



三宅紗織



三宅紗織

応募作アラカルト



八木由利子

八木由利子



仲達 あす沙

清隆一

総責任者

大会長 都窪第2団 団委員長 見村 三吉
副大会長 伊丹第10団 団委員長 辰巳 豊
本部長 都窪第2団 団委員 坪井 慈朗

庶務セクション

責任者 都窪第2団 カブ隊長 篠原 秀夫
マネージャ 都窪第2団 カブ副長 北 喜博
スタッフ 都窪第2団 ビーバー副長/伊丹第10団ローバー隊長 谷 雅美
スタッフ 都窪第2団 保護者会

救急管理セクション

責任者 都窪第2団 ビーバー副長 樫村 恵美
マネージャ 都窪第2団 カブインストラクター 谷井 美保
スタッフ 都窪第2団 ビーバー補助者 山口 直子
スタッフ 伊丹第10団 ビーバー隊長 内田 和美

生活・安全管理セクション

責任者 都窪第2団 ボーイ隊長 高橋 道範
マネージャ 都窪第2団 ボーイ副長 梶谷 祐司
スタッフ 都窪第2団 ベンチャー隊 八木 史考
スタッフ 都窪第2団 ベンチャー隊 樫村 唯人

プログラムセクション

責任者 都窪第2団 ボーイ副長 河本 晃宏
マネージャ 都窪第2団 ビーバー隊長 尾崎 由典
スタッフ 伊丹第10団 ボーイ隊長 吉田 秀伸
スタッフ 伊丹第10団 カブ副長[隊長代行] 佐藤 広絵
スタッフ 都窪第2団 カブ副長 岡部 秀平
スタッフ 都窪第2団 ボーイ副長 宇津木 渉

班担当スタッフ

都窪第2団 ボーイ副長 三宅 紗織
都窪第2団 ボーイ副長 八木 由利子
都窪第2団 ビーバー副長 氏平 昭則
伊丹第10団 ビーバー副長 井上 敬子
伊丹第10団 カブ副長 杉村 雪子
伊丹第10団 カブ副長 三浦 さおり
伊丹第10団 カブ副長 飯塚 浩司

注意事項

参加直前までの注意

- 9月10日から16日当日の朝まで、健康記録を記入する。
- 参加当日の朝、自宅を出る前に体調不良やコロナ陽性及び発熱等、濃厚接触など疑わしい時は、参加を見合わせて下さい

参加期間中の注意

1. 活動中は常に保険証のコピーと本ハンドブックを所持し、緊急時連絡対応できるようにする。
2. 活動中に体調不良になった場合は、無理をせず指導者を訪ねる。
3. 毎朝の検温は各班で確認し報告する。(ハンドブック健康記録に記入する)
4. 周囲の状況の観察
 - 1) 生活、活動する場所をよく観察する。活動場所の地形、通路、人の動きなどよく観察し、対処方法を考えておく。
 - 2) 危険な箇所があると思った場合、指導者に通報する。
 - 3) 会場外の活動では、交通安全に十分注意する。
 - 4) 夜間の行動時には懐中電灯を携帯する。
5. 正しい用具の使用
 - 1) 設営時の用具の使用は、平素の訓練の成果を示す良い機会であることを念頭において行う。
 - 2) ナイフ、ナタ等の刃物の扱い方の安全管理を徹底し、刃物による傷を負わないように特に注意する。刃物の携行は必要時のみとする。

緊急時関係部署連絡先

救急外来病院

- 倉敷市立市民病院 **086-472-8111** 倉敷市児島駅前2丁目39
- 児島中央病院 **086-472-1611** 倉敷市児島小川町3685

消防局

- 倉敷市消防局 児島消防署 **086-473-1190** 倉敷市児島小川1丁目1-17

警察署

- 岡山県 児島警察署 **086-473-0110** 倉敷市児島駅前4丁目83-83

迷ったら、まずは【119番】

ザ・スーパー スカウト ブラザーズ キャンプ



都窪第2団 小林 和恵



都窪第2団 仲達 蒼汰



都窪第2団 三宅 日鞠

所属団・隊	伊丹第10団	都窪第2団	隊
なまえ			